

N

F

C

NFC CALENDAR

大ホール(2階)

A 日本映画の発見IV： 占領下のNIPPON(2)

Rediscovering Our National Film Heritage (IV):
Nihon Eiga under the Occupation - Part 2

6月16日火—7月11日土
7月21日火—8月15日土

展示室(7階)

ブレット・ウェ斯顿とアメリカの写真家たち *Brett Weston and American Photographers*

6月16日火—8月15日土

• 6月—8月の休館日：日曜日・月曜日

休映日：7月14日(火)～7月18日(土)

*展示室は休映日にも御利用になれます。

大ホール

料金=一般410円／学生250円／小人180円

定員=大ホール310名

発券=2階受付

• 観覧券は当日・当該回にのみ有効です。

• 発券・開場は開映の30分前から行ない、定員に達し次第締切となります。

• 開映後の入場はできません。

• 各回入替制です。

展示室

開室=休館日以外の火曜日～土曜日

(午前10時30分～午後6時／入場は5時30分まで)

料金=一般100円(50円) 学生40円(20円) 小人20円(10円)

• ()内は20名以上の団体料金

発券=7階受付

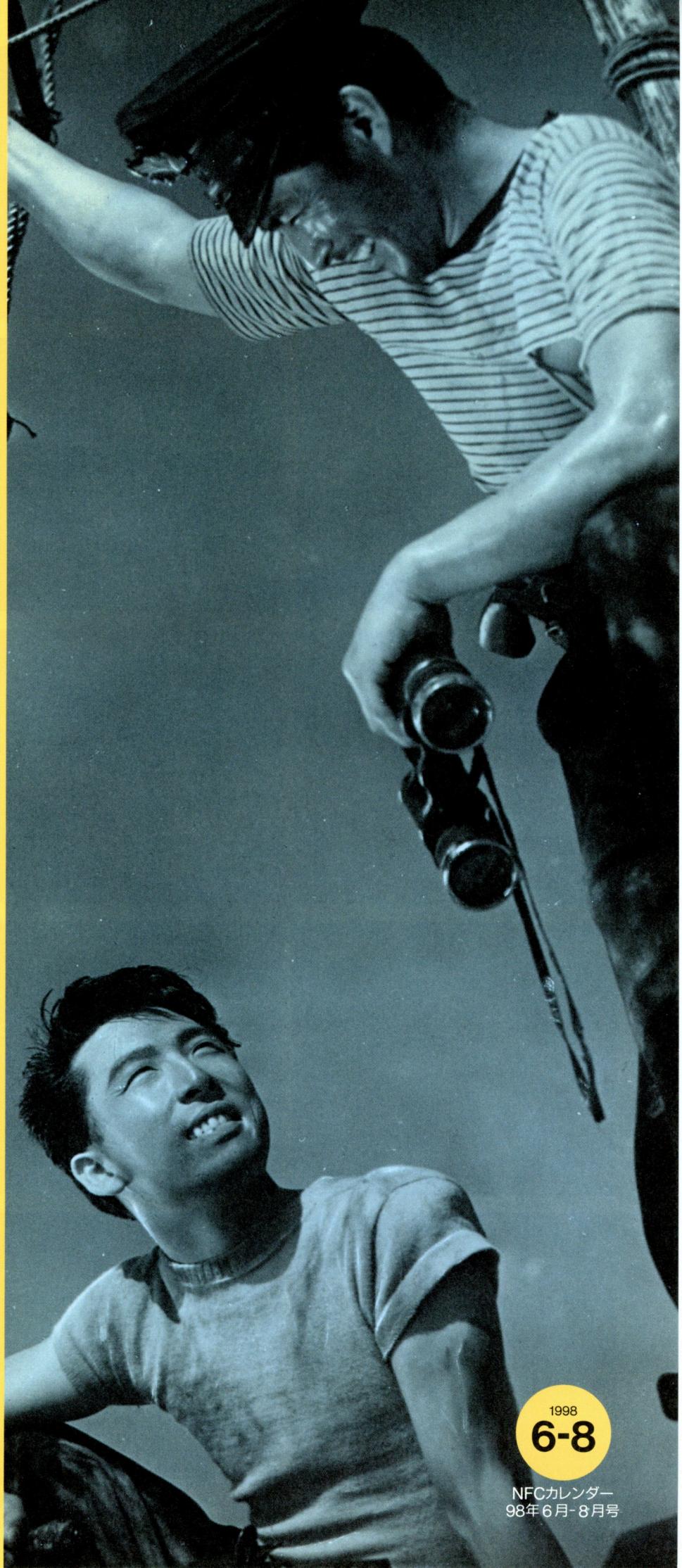
図書室(4階)

開室=休館日、休映日、祝日、臨時休室日以外の火曜日～金曜日

(午前10時30分～午後6時／入室は5時30分まで)

東京国立近代美術館フィルムセンター

National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



1998
6-8

NFCカレンダー
98年6月-8月号

日本映画の発見IV：
占領下のNIPPON(2)
Rediscovering Our National
Film Heritage (IV):
Nihon Eiga under the
Occupation - Part 2

日本の映画遺産をその無声期から現在まで辿るうとするフィルムセンターの長期上映企画「日本映画の発見」も、いよいよ第IV期を迎える。

1955年8月15日の終戦から1952年4月29日の対日講和条約の発効まで、わが国はアメリカを中心とする「連合国」の統治下にありました。戦前、内務省の検閲を受けていた日本映画は、この新しい時代にあってはGHQ(連合軍総司令部)の検閲を受けることとなり、いわゆる「民主主義」的な、あるいは「反軍国主義」的な作品の製作が要請されました。こうした「占領下のNIPPON」で、実際にはどのような作品が発表されたのかを、55本におよぶ映画を通じて知ることができる本特集は、続ぐ「栄光の50年代」を準備した「混乱期」の映画作りを鳥瞰する意味でも、日本の戦後そのものを再考する上でも、きわめて興味深い機会となるでしょう。

2期・80日にわたる会期の後半となる今回は、1949年から1952年までを対象に、社会的な注目を集めた話題作から、今日では上映される機会の稀な中小プロダクションの作品までを通して、当時の日本映画を織り成していた〈さまざまな様相〉を眺めていきます。

A-1 6/16火3:00pm 7/3金6:30pm
7/30木3:00pm

怪傑紫頭巾 総輯版 (96分・35mm)

寿々喜多呂九平脚本、マキノ省三・金森万象共同演出で1923年にマキノプロでつくられた「紫頭巾浮世絵師」のリメイク作品。監督は省三の子、マキノ雅弘である。紫頭巾の阪東妻三郎、目明かし佐平次の大河内傳次郎は初めての共演でもあり、豪華な配役で時代劇ファンにアピールした。

'49(C・A・C)監・マキノ雅弘原・壽々喜多呂九平脚・八尋不二・三木滋人・鈴木静一・阪東妻三郎・大河内傳次郎・月丘夢路・宮城千賀子・沢村國太郎・加東大介・尾上菊太郎・小堀誠・山口勇・市川春代・楠かほる・逢初夢子・荒木忍・富本民平・香川良介

A-2 6/16火6:30pm 7/7火3:00pm
7/30木6:30pm

どぶろくの辰 (94分・35mm)

田坂具隆監督の戦後第一作。1945年8月6日、広島で被爆した田坂の健康が回復するまでには4年の月日を要した。物語は工事現場で働く「どぶろくの辰」と、かれを取り巻く二人の女を描いたものである。脚本家の中江良夫が、新国劇のために書いた戯曲の映画化であり、辰巳柳太郎の映画初出演が話題となった。

'49(大映東京)監・田坂具隆・原・中江良夫・伊佐山三郎・柴田篤二・斎藤一郎・辰巳柳太郎・水戸光子・入江たか子・見明凡太朗・菅井一郎・河津清三郎・船越英二・伊沢一郎・水原洋一・海野光一・高品格

A-3 6/17水3:00pm 7/4土1:00pm
7/31金3:00pm

新釋四谷怪談 前篇 (85分・35mm)

鶴屋南北の「東海道四谷怪談」を、シナリオの久板栄二郎、監督の木下恵介が合理的な解釈にもとづき映画化したユニークな作品。もっとも、占領下にあっては、時代劇の封建性や非合理性は厳しい検閲の対象でもあった。民谷伊右衛門(上原謙)が気弱な失業者として描かれており、原作のもつ禍々しい美の要素は薄められている。

'49(松竹京都)監・木下恵介・原・鶴屋南北・久板栄二郎・楠田浩之・木本勇・木下忠司・田中絹代・上原謙・山根壽子・杉村春子・飯田蝶子・瀧澤修・宇野重吉・佐田啓二・玉島愛造・三津田健・山路義人

A-4 6/17水6:30pm 7/4土4:00pm
7/31金6:30pm

新釋四谷怪談 後篇 (73分・35mm)

木下恵介はこの作品を、気弱な失業者と一途な妻の悲劇、なかば不遇のラブ・ロマンスとして演出している。また、滝沢修の直助柄兵衛、杉村春子のお楳、佐田啓二の小仏小平など、脇の人物に独特の陰影をほどこすことで物語に厚みがくわえられている。興行的には後篇の方がヒットしたということである。

'49(松竹京都)監・木下恵介・原・鶴屋南北・久板栄二郎・楠田浩之・木本勇・木下忠司・田中絹代・上原謙・山根壽子・杉村春子・飯田蝶子・瀧澤修・宇野重吉・佐田啓二・玉島愛造・三津田健

A-9 6/20土1:00pm 7/9木6:30pm
8/5水3:00pm

暁の脱走 (110分・35mm)

軍隊からの脱走や恋愛という戦前には考えられなかった題材を正面から描いた谷口千吉作品。引き裂かれていく陸軍上等兵と慰問団の歌手の恋は、後の反戦映画に大きな刺激を与えた。脚本に黒澤明が参加している。「満州映画協会」のスター李香蘭が日本人、山口淑子として戦後に復帰した作品もある。

'50(新東宝)監・谷口千吉・原・田村泰次郎・脚・黒澤明・三村明・美・松山崇・早坂文雄・脚・池部良・小澤榮・山口淑子・伊豆肇・田中春男・柳谷寛・田中實・清川莊司・若山セツコ・立花満枝・安雙三枝・利根はるゑ

A-5 6/18木3:00pm 7/7火6:30pm
8/1土1:00pm

山を飛ぶ花笠 (83分・35mm)

七世尾上梅幸の数少ない出演作の一つ。伊藤大輔が梅幸扮する役者と彼を慕う女、その許婚の医者という三角関係を歌舞伎の世界を背景に巧みに描いている。伊藤は小山内薫に命じられて、松竹キネマ俳優学校時代に実地に歌舞伎を学んだことがあり、そのときの見聞が生かされているともいえるだろう。

'49(大映京都)監・伊藤大輔・原・川口松太郎・脚・川崎新太郎・角井平吉・西郷鶴郎・尾上梅幸・花柳小菊・月形龍之介・沢村國太郎・葛木香一・香川良介・沢村貞子・東山千栄子・遠山滿・加東大介

A-10 6/20土4:00pm 7/10金3:00pm
8/5水6:30pm

ペン偽らず 暴力の街 (111分・35mm)

実際にあった暴力追放の新聞キャンペーンをもとにドキュメンタリー・タッチで描かれた意欲作。ある町を舞台に、政治、警察など地元権力にはびこる腐敗を新人新聞記者が暴いていく。東宝争議で獲得した資金をもとに、日本映画演劇労働組合が製作し1950年代の独立プロ運動の源流となった作品である。

'50(日本映画演劇労働組合)監・山本薩夫・原・朝日新聞浦和支局同人・脚・八木保太郎・山形雄策・脚・植松永吉・五所福之助・原・齊藤一郎・志村喬・原保美・池部良・河野秋武・神田隆・沼崎勲・永田靖・宇野重吉

A-6 6/18木6:30pm 7/8水3:00pm
8/1土4:00pm

忘れられた子等 (86分・35mm)

「手をつなぐ子等」の好評をうけて、同じ田村一二の原作をもとに、稻垣浩が製作・脚本・監督を手がけた作品。障害児童とそのクラス担任となった教師の姿を丁寧に描いていく。初めは困惑していた若い教師が、児童の純真さにうたれて、教師として成長していく姿があたたかい視線で見つめられている。

'49(稲垣プロダクション=新東宝)監・脚・稻垣浩・原・田村一二・安本淳・原・堀保治・原・西郷鶴郎・脚・堀雄二・笠智衆・泉田行夫・岩田直二・葛木香一・浅野光男・葉山富之・轍・松浦築枝・瀧澤静子・木下サヨ子・宮川喜美枝

A-11 6/23火3:00pm 7/10金6:30pm
8/6木3:00pm

女の四季 (100分・35mm)

引揚者の女性画家が恩師や知人、親戚の家を転々しながら戦後の生活の現実に直面していく。巧みな演出で知られる豊田四郎が、多彩な登場人物を的確にさばきながら、戦後の風俗を描きだしていく。後に豊田の代表作「夫婦善哉」を生む脚本家の八住利雄と初めてコンビを組んだ作品でもある。

'50(東宝)監・豊田四郎・原・丹羽文雄・脚・八住利雄・脚・木塚誠一・久保一雄・原・飯田信夫・原・若山セツ子・杉村春子・池部良・東山千栄子・薄田研二・荒木道子・藤原釜足・赤木蘭子・渡辺篤・谷間小百合・小杉義男

A-7 6/19金3:00pm 7/8水6:30pm
8/4火3:00pm

小原庄助さん (91分・35mm)

作意をきらった自然本位の作風で知られ、映画史上に独自の地位を占めている清水宏の監督作品。大河内傳次郎が農地改革で没落していく地主を懇々と楽し気に演じている。オール・ロケーションによる実写の効果も大きい。脚本の岸松雄は映画評論家出身、のちに製作に転じ、監督業にも進出した。

'49(新東宝)監・脚・清水宏・原・岸松雄・脚・鈴木博・原・下河原友雄・原・古関裕二・脚・大河内傳次郎・風見章子・宮川玲子・清川虹子・飯田蝶子・田中春男・清川莊司・鳥羽陽之助・日守新一・鮎川浩・石川冷・赤坂小梅

A-12 6/23火6:30pm 7/11土1:00pm
8/6木6:30pm

われ幻の魚を見たり (106分・35mm)

伊藤大輔が長年あたためていた企画。古くから魚類の生息しない湖であった青森県の十和田湖。その不毛の湖に苦心を重ねながらヒメマスを移植する情熱の人、井和内貞行の姿を、「創作された伝記」として描きだした作品である。「長恨」(1926)以来の長年の名コンビ大河内傳次郎との最後の作品となったことでも記憶される。

'50(大映京都)監・原・脚・伊藤大輔・原・石本秀雄・原・角井平吉・深井史郎・脚・大河内傳次郎・小夜福子・青山杉作・東山千栄子・二本柳寛・山本礼三郎・三島雅夫・香川良介・片山明彦・早野康生・初山たかし

A-3 6/17水3:00pm 7/4土1:00pm
7/31金3:00pm

新釋四谷怪談 前篇 (85分・35mm)

時代劇の片岡千恵蔵が、横溝正史の推理小説で有名な名探偵「金田一耕助」に扮したのも占領下ならではの現象ではあった。これは市川右太衛門も同様であり、戦前からの時代劇スターは苦労を強いられていた。東横映画は後に東映となるが、その中枢をなった製作陣はマキノ映画や「満州映画協会」の引揚者であった。

'49(東横映画京都)監・木下恵介・原・鶴屋南北・脚・久板栄二郎・楠田浩之・木本勇・木下忠司・田中絹代・上原謙・山根壽子・杉村春子・飯田蝶子・瀧澤修・宇野重吉・佐田啓二・玉島愛造・三津田健・山路義人

A-13 6/24水3:00pm 7/11土4:00pm
8/15土4:00pm

きけわだつみの声 日本戦没学生の手記 (108分・35mm)

第二次世界大戦で戦没した学生の手記を集めて出版された「きけわだつみの声」は、一躍ベストセラーになった。その手記をもとに八木保太郎が全体を構成し、舟橋和郎がシナリオを執筆、発足間もない東横映画(東映の前身)が争議で東宝を去った関川秀雄を迎えて製作した作品。ビルマ戦線の悲惨な戦いが描かれる。

'50(東横映画)監・脚・関川秀雄・舟橋和郎・脚・大塚新吉・原・桂長四郎・原・伊福部昭・原・赤木肇・原・保美・河野秋武・信欣三・杉村春子・英百合子・沼田曜一

A-14 6/24水6:30pm 7/21火3:00pm
8/7金3:00pm

てんやわんや (96分・35mm)

ユーモアあふれる獅子文六の原作をえて、渋谷実が演出した風刺劇。いかにも渋谷的な味わいの風俗喜劇であり、その本格的な最初の作品といわれている。四国・松山や宇和島などで大規模なロケをおこなった作品であり、その豊かな地方色も評価された。また、宝塚歌劇出身の淡島千景の映画デビュー作でもある。

'50(松竹大船)監・瀧谷実原・獅子文六・斎藤良輔、荒田正男・長岡博之・浜田辰雄・伊福部昭・佐野周二、淡島千景、桂木洋子、志村喬、三島雅夫、藤原釜足、薄田研二、望月美恵子、三井弘次、三津田健

A-18 6/26金6:30pm 7/22水6:30pm
8/8土4:00pm

若い娘たち (90分・35mm)

自分の眼鏡にかなった学生を下宿させ、その学生に次々と娘を嫁がせる母。一方、その兄の家庭では望み通りの婿がないため、娘はなかなか結婚できない。また新しい学生がやって来た。だが、四女は母の計略に反発し心を許さない。石坂洋次郎原作の青春謡歌映画。千葉泰樹監督が手堅くまとめている。

'51(東宝)監・千葉泰樹原・石坂洋次郎・井手俊郎・池田吉男・小川一男・飯田信夫・池部良、伊豆肇、杉葉子、若山セツ子、島崎雪子、河村黎吉、藤原釜足、清水将夫、宮田重雄、村瀬幸子、清川玉枝

A-23 7/1水3:00pm 7/25土1:00pm
8/13木3:00pm

舞姫 (85分・35mm)

二人の子供をもちながら、互いの心に高い垣根をきずいてしまった夫婦。夫は妻の家で書生をしていた劣等意識から逃れられず、妻は結婚以前から付き合いのあった男に会わざにはいられない。川端康成の新聞連載小説を新藤兼人が脚色、成瀬巳喜男が怜俐な視線で、心の通わない夫婦の姿を見つめしていく。

'51(東宝)監・成瀬巳喜男原・川端康成原・新藤兼人・中井朝一・中古智・斎藤一郎・高峰三枝子、山村聰、二本柳平、片山明彦、岡田茉莉子、木村功、澤村貞子、見明凡太郎、大谷伶子、大川平八郎

A-15 6/25木3:00pm 7/21火6:30pm
8/8土1:00pm

長崎の鐘 (94分・35mm)

広島、長崎に投下された原子爆弾による被害については、占領軍は厳しい検閲で臨んでいた。その意味ではこの作品も原爆問題を正面に据えたものではない。長崎医大で放射能を研究していた永井博士が被爆し、ベストセラーとなったその手記をもとに映画化した難病もののひとつともいえよう。原爆を扱った最初の劇映画ではあった。

'50(松竹大船)監・大庭秀雄原・永井隆原・新藤兼人、光畑頼郎、橋田寿賀子・生方敏夫・森幹夫・古関裕而・若原雅夫、月丘夢路、津島恵子、滝沢修、三井弘次、薄田研二、青山杉作、清水一、高堂国典

A-19 6/27土1:00pm 7/23木6:30pm
8/11火3:00pm

銭形平次 (83分・35mm)

推理と投げ銭で犯人を捕まえる、目明かし「銭形平次」は戦前からのスター、長谷川一夫の当たり役となり、これ以降シリーズ化され、全部で17本が製作された。松竹でデビューし、東宝に移籍した長谷川一夫は、東宝争議のあと新演技座を設立し奮闘するが、1950年に永田雅一率いる大映に入社していた。

'51(大映京都)=新演技座監・森一生原・野村胡堂原・冬島泰三・牧田行正・角井平吉原・伊藤宣二・長谷川一夫、三條美紀、日高澄子、長谷川裕見子、大美輝子、香川良介、沢村国太郎、清川荘司、佐々木小二郎

A-24 7/1水6:30pm 7/28火3:00pm
8/13木6:30pm

結婚行進曲 (83分・35mm)

市川崑監督の東宝第一作。ハリキリ女性が失業中の恋人のかわりに、営業職で大活躍。社長の覚えもめでたくなるが、社長の妻が嫉妬して一騒動がまきおこるという都会風のシャレた喜劇である。人物がおそらく早口で喋るのは、スピーディーでテンポのある映画を目指した市川監督の意図であった。

'51(東宝)監・市川崑原・井手俊郎、和田夏十・飯村正・河東安英・仁木他喜雄・上原謙、山根壽子、杉葉子、伊豆肇、高杉早苗、沢村貞子、伊藤雄之助、浦辺栄子、村上冬樹、長濱藤夫、南美江、越路吹雪

A-16 6/25木6:30pm 7/22水3:00pm
8/7金6:30pm

花のおもかげ (80分・35mm)

作曲家志望の青年ピアニスト、その友人の青年画家。清純なバレリーナがピアニストに寄せる淡い慕情、戦後落魄してしまった年上の美しい女性に対するピアニストの思慕といったロマンス的な設定で描かれるメロドラマ。城代城代治監督は丁寧な演出で振りあげている。脚本は山内久と馬場當。

'50(松竹大船)監・家城代治原・山内久、馬場當・西川享・五所福之助・田代與志、黛敏郎・月丘夢路、山内明、高橋貞二、津島恵子、櫻むつ子、清水一郎、山路義人、神田隆、佐竹敏夫、中村福蔵、水上令子、土紀就一、高木国信、諸角啓二郎

A-20 6/27土4:00pm 7/23木3:00pm
8/11火6:30pm

自由学校 (109分・35mm)

原作は獅子文六。ノンビリ屋の夫とシッカリものの妻。夫婦喧嘩のあげくは家を出てしまう。妻の方には次々と男が接近するが…。一方、夫は貧乏長屋の住民となっている。「とんでもハッpin」という流行語や当時の風俗を巧みにとりいたれた渋谷実喜劇の代表作の一つ。大映でも同じ題名で吉村公三郎作品が製作され「競映」となった。

'51(松竹大船)監・瀧谷実原・獅子文六原・斎藤良輔・長岡博之・浜田辰雄・伊福部昭・佐分利信、高峰三枝子、淡島千景、佐田啓二、笠智衆、三津田健、田村秋子、杉村春子、中村伸郎、龍岡晋、十朱久雄

A-25 7/2木3:00pm 7/28火6:30pm
8/14金3:00pm

ラッキーさん (84分・35mm)

源氏鶴太原作のサラリーマンもの。ラッキーさんと呼ばれる主人公が、会社員ならではの体験をつみ転勤していくまでを、市川崑監督が軽快な演出でまとめあげている。社長役の河村黎吉は、松竹出身の個性派俳優で後に「三等重役」にも出演、東宝サラリーマン喜劇に欠かせない人物になっていく。

'52(東宝)監・市川崑原・源氏鶴太原・猪俣勝人・飯村正・安倍輝明・古関裕而・小林桂樹、小泉博、島崎雪子、河村黎吉、沢村貞子、伊藤雄之助、小川虎之助、杉葉子、齋藤達雄、三條利喜江、井上大助

A-17 6/26金3:00pm 7/25土4:00pm

玄海灘の怒濤篇 阿修羅龍鬼隊

(41分・35mm)

戦に敗れて逃れる途中に城主は落命。その死に際に、形見として刀の鍔を二人の幼子に分け与えた。月日が流れ、一人は海賊の頭目に、一人は山賊の首領となり、共に悪代官に戦いを挑むのだった。尾上菊太郎は戦前、自前のプロダクションをもち、製作したことのある男優で、主に1930年代に活躍した。

'51(九州映画=古池慶輔プロダクション)監・近藤勝彦、深田金之助・三春次郎・徳川春夫・稻本信一・尾上菊太郎、市川男女之助、尾上榮五郎、上代勇吉、関矢一郎、筑紫龍太郎、ダン・トクマロ、松井草人、周船寺八郎、清水晴夫、長田健策、月宮乙女、奥山紗代

A-21 6/30火3:00pm 7/24金6:30pm
8/12水3:00pm

あゝ青春 (109分・35mm)

主演の佐分利信が自ら監督した意欲作品。以前とは異なる戦後の学生生活をあつかったもので、生活苦のなかで懸命に生きていく女子大学生を高峰三枝子が演じている。ロマンチックな描写を避け、リアルな視線で彼女と周囲の男たちをとらえている点に、佐分利信の姿勢があらわれている。

'51(松竹京都)監・佐分利信原・猪俣勝人・藤井静・浜田辰雄・黛敏郎・高峰三枝子、若原雅夫、三宅邦子、水原真知子、東山千栄子、河津清三郎、桜むつ子、南進一郎、鮎川千糸子、岩崎正興、山路義人、三橋達也、南川直、宇田川保、青木利彦

A-26 7/2木3:00pm 7/29水3:00pm
8/14金6:30pm

波 (110分・35mm)

初老のカップルが海辺で来し方を振りかえるところから物語は始まっている。それは、一人の教師が出生に疑問をもちながら子供を育ててきた歳月でもあり、愛情を感じながらも結ばれなかった女性との悲恋に耐えた月日でもあった。山本有三の原作小説を中村登監督が正攻法で演出している。

'52(松竹大船)監・中村登原・山本有三原・大木直太郎・生方敏夫・熊谷正雄・吉沢博、黛敏郎、奥村一・佐分利信、淡島千景、津島恵子、桂木洋子、笠智衆、坂本武、北龍二、岩井半四郎、十朱久雄、石浜朗、村瀬禪、設楽幸嗣、高松栄子

A-22 6/30火6:30pm 7/24金3:00pm
8/12水6:30pm

海賊船 (114分・35mm)

稻垣浩監督の海洋映画。南の海に密輸船ばかりを狙う海賊船がいた。虎と呼ばれる船長が、あらくれどもを率いていた。ある港に投錨中、四人の子供が船にまぎれこみ、その内の一人が女だった。「二の字」役の大谷友右衛門は、現在の中村雀右衛門(四世)。平成の歌舞伎界を代表する名女形の一人である。

'51(東宝)監・稻垣浩原・小国英雄・鈴木博原・安倍輝明・深井史郎・三船敏郎、浅茅しのぶ、大谷友右衛門、田崎潤、上田吉二郎、大泉滉、富田仲次郎、森繁久彌、谷晃、福原秀夫、高原駿雄、大久保正信

A-27 7/3金3:00pm 7/29水6:30pm
8/15土1:00pm

お國と五平 (91分・35mm)

原作は谷崎潤一郎の一幕ものの戯曲。殺された夫の仇討ちのために旅をする、武士の妻とその若党。長い旅のあいだに、二人の間には主従関係を越えた愛情が通い始める。そんな折、目指す相手が現れた。成瀬巳喜男には生活感のある時代劇を作つてみたいという抱負があり、本作はその試みでもあった。

'52(東宝)監・成瀬巳喜男原・谷崎潤一郎原・八住利雄・山田一夫原・中古智・清瀬保二・木暮実千代、大谷友右エ門、山村聰、田崎潤、鳥羽陽之助、三好榮、廣瀬嘉子、津路京子、藤原釜足、音羽久米子

1998
6-8
大ホール日本映画の発見IV：占領下のNIPPON(2)
Rediscovering Our National Film Heritage (IV): Nihon Eiga under the Occupation - Part 2

日 月	火	水	木	金	土
14 15	A-1 怪傑紫頭巾 16 A-2 どぶろくの辰	3:00pm (96分) A-3 新釋四谷怪談 前篇 17 A-4 新釋四谷怪談 後篇	3:00pm (85分) A-5 山を飛ぶ花笠 18 A-6 忘れられた子等	3:00pm (83分) A-7 小原庄助さん 19 A-8 獄門島	3:00pm (91分) A-9 暁の脱走 20 A-10 暴力の街
21 22	A-11 女の四季 23 A-12 われ幻の魚を見たり	3:00pm (100分) A-13 きけわだつみの声 24 A-14 てんやわんや	3:00pm (108分) A-15 長崎の鐘 25 A-16 花のおもかげ	3:00pm (94分) A-17 阿修羅龍鬼隊 神変美女峠 26 A-18 若い娘たち	3:00pm (41分) A-19 銭形平次 1:00pm (83分)
28 29	A-21 あゝ青春 30 A-22 海賊船	3:00pm (109分) A-23 舞姫 7/1 A-24 結婚行進曲	3:00pm (85分) A-25 ラッキーさん 2 A-26 波	3:00pm (84分) A-27 お國と五平 3 A-1 怪傑紫頭巾	3:00pm (91分) A-3 新釋四谷怪談 前篇 4 A-4 新釋四谷怪談 後篇
5 6	A-2 どぶろくの辰 7 A-5 山を飛ぶ花笠	3:00pm (94分) A-6 忘れられた子等 8 A-7 小原庄助さん	3:00pm (86分) A-8 獄門島 9 A-9 暁の脱走	3:00pm (102分) A-10 暴力の街 10 A-11 女の四季	3:00pm (111分) A-12 われ幻の魚を見たり 11 A-13 きけわだつみの声
12 13	14 休映	15 休映	16 休映	17 休映	18 休映
7 19 20	A-14 てんやわんや 21 A-15 長崎の鐘	3:00pm (96分) A-16 花のおもかげ 22 A-18 若い娘たち	3:00pm (80分) A-20 自由学校 23 A-19 銭形平次	3:00pm (109分) A-22 海賊船 24 A-21 あゝ青春	3:00pm (114分) A-23 舞姫 25 A-17 阿修羅龍鬼隊 神変美女峠
26 27	A-24 結婚行進曲 28 A-25 ラッキーさん	3:00pm (83分) A-26 波 29 A-27 お國と五平	3:00pm (110分) A-1 怪傑紫頭巾 30 A-2 どぶろくの辰	3:00pm (96分) A-3 新釋四谷怪談 前篇 A-4 新釋四谷怪談 後篇	3:00pm (85分) A-5 山を飛ぶ花笠 3/1 A-6 忘れられた子等
2 3 8 9 10	A-7 小原庄助さん 4 A-8 獄門島	3:00pm (91分) A-9 暁の脱走 5 A-10 暴力の街	3:00pm (110分) A-11 女の四季 6 A-12 われ幻の魚を見たり	3:00pm (100分) A-14 てんやわんや 7 A-16 花のおもかげ	3:00pm (96分) A-15 長崎の鐘 8 A-18 若い娘たち
9 10	A-19 銭形平次 11 A-20 自由学校	3:00pm (83分) A-21 あゝ青春 12 A-22 海賊船	3:00pm (109分) A-23 舞姫 13 A-24 結婚行進曲	3:00pm (85分) A-25 ラッキーさん 14 A-26 波	3:00pm (84分) A-27 お國と五平 15 A-13 きけわだつみの声

図書室カレンダー

赤は休室日

6月

7月

8月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6		1	2	3	4				1						
7	8	9	10	11	12	13	5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8
14	15	16	17	18	19	20	12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15
21	22	23	24	25	26	27	19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22
28	29	30					26	27	28	29	30	31		23	24	25	26	27	28	29
														30	31					

展示室

ブレット・ウェ斯顿とアメリカの写真家たち

Brett Weston and American Photographers
6月16日㈬～8月15日㈯

20世紀中期のアメリカ西海岸を代表する写真家の人一人、ブレット・ウェ斯顿(1911-1993)。1984年に写真家本人から寄贈された42点の作品を特集展示します。また当館の所蔵品から同時代のアメリカの写真家たちの作品をあわせて展示し、今世紀の写真表現をリードしたアメリカ写真の世界を紹介します。

●上記展覧会の詳細につきましては、当該のチラシをご覧ください。

2階受付では、「NFCニュースレター」(隔月刊)を販売しています。これは、フィルムセンターのさまざまな催し物や事業の情報、上映番組の解説、予告等はもちろんのこと、世界のフィルム・アーカイヴやシネママークの紹介、映画史研究の先端的成果の発表などを掲載する機関誌です。どうぞご利用下さい。

東京国立近代美術館フィルムセンターは、国際フィルム・アーカイヴ連盟(FIAF)の正会員です。FIAFは文化遺産として、また、歴史資料としての映画フィルムを、破壊・散逸から救済し保存しようとする世界の諸機関を結びつけている国際団体です。



フィルムセンター 〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6
営団地下鉄銀座線京橋駅下車、出口から和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口4から中央通り方向へ徒歩1分
営団地下鉄有楽町線銀座一丁目駅下車、出口9より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

お問い合わせ : NTTハローダイヤル 03-3272-8600
東京国立近代美術館ホームページ <http://www.momat.go.jp/>